

特別企画

# 小学校から中学校へ

## —小中連携のために

小学校英語の教科化が始まって4年目。小学校では英語の授業が定着してきました。中学校ではどんなことを大切にしたらよいのでしょうか。

### 小中連携の ポイント

—学び方をつなごう!

おお た ひろし  
**太田 洋**  
東京家政大学 教授

「小学校・中学校と、英語を学んできたからこんなことができるようになったんだ」——生徒にこんなふうに思ってもらいたいですよね。そのために私たち教員ができることは何でしょうか。その一つは「学び方」で小学校と中学校をつなぐことです。小・中の英語の授業での学び方がつながっていれば、小学校での学び方を継続して、中学校でも安心して学び続けることができます。言葉を身につけるのには時間がかかりますので、学び方を継続することはとても大切です。今回は小・中の『Here We Go!』で英語の学びがどのようにつながっているのかをご紹介します。

#### 理解のしかたでつなぐ

『Here We Go!』では、小学校・中学校ともに各Unitの最初でストーリー全体を聞かせる流れになっています。まとまった量の英語をイン

プットするため、以下の三つの工夫をしています。一つ目は、子どもが親しみをもつ登場人物が継続して活躍するストーリーになっていることです。それを通して、子どもたちはそれぞれの「人となり」を知っていきます。「将太ならどうだろう」などと内容を予測して聞くことが、理解を促進します。二つ目は、映像という視覚情報の助けを得ながら聞くことができることです。映像で場面・状況がよりわかりやすくなりますし、親しみやすいので、繰り返し聞く(見る)ことが苦になりません。三つ目は構成です。最初に全体を聞いた後、改めて部分ごとに聞く、という流れになっています。この繰り返しで徐々に理解を深めていきます。

このような学び方を小・中両方で行うことで、「量に負けない子ども」を育てることができます。わからないところがあっても気にせずに、曖昧さに耐える姿勢で、まずはわかることから理解を始めます。粘り強く何度も聞いている



令和6年度版小学校『Here We Go!』5年 Unit 5 冒頭ページ

うちに、子どもたちは理解を深めていくのです。このような学び方を小・中でつないでいけば、言語の学びにいちばん大切な「インプットの量を増やす」ことができます。学び方としては最も大切なことの一つといえます。

#### 「自分ごと」にしてつなぐ



令和6年度版小学校『Here We Go!』5年 Unit 5 Small Talk

インプットをたくさん得て、量に負けない学習をした後は、理解したことを徐々にアウトプットする機会を与えましょう。「自分なら何と言うだろう」と、習ったことを自分に近づける学びをすることです。このときに大切なのは新しく習った語句や表現を使用するだけでなく、今までに習った表現を駆使するような場面を設けることです。この習ったことを子どもに近づける学び方を、令和6年度版小学校『Here We Go!』では、Small Talk・Let's try・Plus Oneの各教材で行います。特にSmall Talkでは、それまでに習った表現をふんだんに盛り込んだミニアニメーションの中で、好きなキャラクターたちが自らのことを語った後に“How about you?”と投げかけてきます。見ているだけで、思わず自分のことを話したくなるでしょう。

中学校では、新しい言語材料を扱うSpeak・Writeだけではなく、継続的に使用する帯教材Let's Talk!で、既習表現を使って自分のことを

語る機会を設けています。こんなふうに、習ったことを自分に近づける学びを、小・中で繰り返し継続することで自分たちの言葉で伝え合う力が高まっていくことでしょう。

#### 中学校の最初で小学校の学びをつなぐ



令和3年度版中学校『Here We Go!』1年 Let's Be Friends!

中学校1年の最初は生徒にとって不安な時期です。この時期を大切にしましょう。「聞く」「話す」を柱に据えた小学校で、英語をどんなふうに進んできたか、教員の皆さんは目の前の生徒たちをよく見て捉えてください。その見極めのために、接続期の教材が最適です。中学校の『Here We Go!』では、Let's Be Friends!という接続教材で小学校の活動を繰り返しています。生徒たちが聞いたり話したりする姿から、小学校での学び方を中学校へとつなげるヒントを得てほしいと思います。

#### 小・中で学び方をつなげよう!

以上3点、小中連携のポイントともいえる、学び方についてご紹介しました。中学校の先生方、生徒たちが小学校で身につけた学び方を中学校で生かしましょう。小学校の先生方、児童たちの学びはこんなふうにつながっていきます。安心して日々の授業を進めてください。

小学校から中学校へ、学び方をつなげて、子どもたちの英語の力を育てましょう。